

参考資料 事業運営・管理運営についての参考事例

いわき芸術文化交流館（いわきアリオス）	可児市文化創造センター（アーラ）	新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）	兵庫県立芸術文化センター																																																																																																		
<p>■竣工：平成19年8月</p> <p>■延床面積：27,566㎡ 建築面積：9,155㎡</p> <p>■主要施設：大ホール：1,705席、中劇場：687席、小劇場：233席、音楽小ホール：200席他</p> <p>■運営方式：直営（市民協働部の出先機関） PFIで維持管理部分はSPCが担う</p> <p>■基本コンセプト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に集い、ふれあい、楽しめるコミュニティであること 2. 自分を磨き、新たな価値を生み出す創造的活動拠点であること 3. みずみずしい芸術文化に触れ、地域への誇りとともに育む場であること 4. まちとつながり、まちを感じる賑わいの空間であること 5. 地域における公共劇場の新しいスタンダードであること <p>■特徴ある活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞系事業 2. 普及系事業 3. アウトリーチ事業 4. 子育て支援型事業 5. 人材育成・交流事業 6. 市民による芸術文化活動への支援 7. 市民協働型事業 <p>■組織：</p> <table border="0"> <tr><td>館長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>副館長（支配人 大石時雄氏）</td><td>1人</td></tr> <tr><td>経営総務課</td><td>9人</td></tr> <tr><td>企画制作課</td><td>7人</td></tr> <tr><td>施設管理課</td><td>29人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>49人</td></tr> </table> <p>■運営経費規模（支出額）：</p> <table border="0"> <tr><td>PFI 対価年間支払</td><td>約11億9千万円</td></tr> <tr><td>（建物分</td><td>約9億7千万円）</td></tr> <tr><td>（維持管理分</td><td>約2億2千万円）</td></tr> <tr><td>直営部分支出額</td><td>約4億8千万円 B</td></tr> <tr><td>A+B</td><td>約7億円</td></tr> </table> <p>PFI事業期間：15年</p>	館長	1人	副館長（支配人 大石時雄氏）	1人	経営総務課	9人	企画制作課	7人	施設管理課	29人	合計	49人	PFI 対価年間支払	約11億9千万円	（建物分	約9億7千万円）	（維持管理分	約2億2千万円）	直営部分支出額	約4億8千万円 B	A+B	約7億円	<p>■竣工：平成14年3月</p> <p>■延床面積：18,410㎡ 建築面積：8,743㎡</p> <p>■主要施設：主劇場：1,019席、小劇場：311席、映像シアター：100席他</p> <p>■運営方式：指定管理（公財）可児市文化芸術振興財団</p> <p>■ミッション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時代、地域と共生する、全国レベル、世界水準の舞台芸術の鑑賞機会の提供 2. 劇場をナショナルブランドとすることを目指す高水準の舞台芸術の自主制作 3. 行ってみたい、住んでみたい、住んで良かった、と言われるコミュニティサービスの提供 4. 地域社会と連携し、芸術文化を通して明日の可児市の「希望」を形成することに寄与する 5. 以上は等価であり、スタッフは以上のために可能な限りサービスを創意工夫する責務をもつ <p>■特徴ある活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ala まち元気プロジェクト 学校、福祉施設、保健医療機関、他文化共生推進機関などと協働したコミュニティプログラム 2. Ala コレクションシリーズ アーティストインレジデンス 3. 市民参加プロジェクト ミュージカル等の市民参画企画制作、公演事業 4. 地域拠点プログラム 文学座、新日本フィルハーモニーと包括的な地域拠点契約を締結 5. 市民の関心の高い公演などの鑑賞型事業 <p>■組織：</p> <table border="0"> <tr><td>館長兼劇場総監督（衛紀生氏）</td><td>1人</td></tr> <tr><td>事務局長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>総務課</td><td>5人</td></tr> <tr><td>顧客コミュニケーション課</td><td>5人（兼務1）</td></tr> <tr><td>事業制作課</td><td>8人（兼務1）</td></tr> <tr><td>舞台技術課</td><td>5人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>23人</td></tr> </table> <p>■運営経費規模：</p> <table border="0"> <tr><td>年間</td><td>約6億2千万円</td></tr> <tr><td>（指定管理料</td><td>約4億6千万円）</td></tr> </table>	館長兼劇場総監督（衛紀生氏）	1人	事務局長	1人	総務課	5人	顧客コミュニケーション課	5人（兼務1）	事業制作課	8人（兼務1）	舞台技術課	5人	合計	23人	年間	約6億2千万円	（指定管理料	約4億6千万円）	<p>■竣工：平成10年6月</p> <p>■延床面積：25,099㎡ 建築面積：10,062㎡</p> <p>■主要施設：コンサートホール：1,884席、劇場：868席、能楽堂：382席他</p> <p>■運営方式：指定管理（公財）新潟市芸術文化振興財団</p> <p>■特色</p> <p>○ 「新潟発の文化創造」を目標に掲げ、舞踊、音楽、演劇・芸能の3つの分野に、それぞれ芸術監督として金森穰、秋山和慶、笹部博司各氏を擁し、レジデンシャルダンスカンパニー「Noism」、準フランチャイズ楽団東京交響楽団などによる質の高い、個性ある活動を行っている。</p> <p>■特徴ある活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽事業 東京交響楽団定期演奏会、オペラ劇場シリーズ、アウトリーチプログラム、ジュニアオーケストラ、合唱団、邦楽集団等の育成他 2. 演劇事業 年2作品程度の新作制作、他都市への公演 キッズ創作集団プログラム APRICOT 他 3. 能楽事業 年間を通じた公演、ワークショップ、鑑賞教室 4. 舞踊事業 Noismによる公演、他都市への公演 ダンスワークショップ他 <p>■組織：</p> <table border="0"> <tr><td>支配人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>副支配人</td><td>1人</td></tr> <tr><td>施設運営部</td><td>36人</td></tr> <tr><td>部長級</td><td>1</td></tr> <tr><td>庶務課</td><td>5</td></tr> <tr><td>施設利用課</td><td>15</td></tr> <tr><td>舞台技術課</td><td>15（委託10含）</td></tr> <tr><td>事業企画部</td><td>26人</td></tr> <tr><td>部長級</td><td>2</td></tr> <tr><td>音楽企画課</td><td>7</td></tr> <tr><td>広報営業課</td><td>8</td></tr> <tr><td>演劇企画課</td><td>7</td></tr> <tr><td>舞踊企画課</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>64人</td></tr> </table> <p>■運営経費規模：</p> <table border="0"> <tr><td>年間</td><td>約11億6千万円</td></tr> <tr><td>（指定管理料</td><td>約8億2千万円）</td></tr> </table>	支配人	1人	副支配人	1人	施設運営部	36人	部長級	1	庶務課	5	施設利用課	15	舞台技術課	15（委託10含）	事業企画部	26人	部長級	2	音楽企画課	7	広報営業課	8	演劇企画課	7	舞踊企画課	2	合計	64人	年間	約11億6千万円	（指定管理料	約8億2千万円）	<p>■竣工：平成17年5月</p> <p>■延床面積：33,144㎡ 建築面積：10,530㎡</p> <p>■主要施設：大ホール：2,001席、中ホール：800席、小ホール：417席他</p> <p>■運営方式：指定管理（公財）兵庫県芸術文化協会</p> <p>■基本理念</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 阪神・淡路大震災からの「心の復興・文化の復興」に貢献 2. 21世紀における「舞台芸術の創造と交流」を国内外にわたり推進 3. 舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動を通じて広く「県民文化の振興」を推進 4. 芸術文化を通じて「地域の振興」を図る <p>■特徴ある活動：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術監督プロデュースオペラ・コンサート 2. 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業 3. スーパーキッズオーケストラ育成、公演事業 4. センター企画・プロデュース公演 5. 招へい、提携、共催事業 6. 舞台芸術の普及、県民の創作活動支援 7. 舞台芸術を支える人材の育成事業 <p>■組織：</p> <table border="0"> <tr><td>館長</td><td>（含めず）</td></tr> <tr><td>芸術監督</td><td>（含めず）</td></tr> <tr><td>副館長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>ゼネラルマネージャー</td><td>1人</td></tr> <tr><td>事務局長</td><td>1人</td></tr> <tr><td>楽団部</td><td></td></tr> <tr><td>事業部</td><td>制作（音楽・オペラ・バレエ、演劇・古典芸能、普及事業）、広報、営業</td></tr> <tr><td>舞台技術部</td><td></td></tr> <tr><td>総務部</td><td></td></tr> <tr><td>合計（楽団員は含まない）</td><td>52人</td></tr> </table> <p>■運営経費規模：</p> <table border="0"> <tr><td>年間（専属楽団含む）</td><td>約36億円</td></tr> <tr><td>（県負担</td><td>約12億6千万円）</td></tr> <tr><td>（事業基金</td><td>約4億3千万円）</td></tr> </table>	館長	（含めず）	芸術監督	（含めず）	副館長	1人	ゼネラルマネージャー	1人	事務局長	1人	楽団部		事業部	制作（音楽・オペラ・バレエ、演劇・古典芸能、普及事業）、広報、営業	舞台技術部		総務部		合計（楽団員は含まない）	52人	年間（専属楽団含む）	約36億円	（県負担	約12億6千万円）	（事業基金	約4億3千万円）
館長	1人																																																																																																				
副館長（支配人 大石時雄氏）	1人																																																																																																				
経営総務課	9人																																																																																																				
企画制作課	7人																																																																																																				
施設管理課	29人																																																																																																				
合計	49人																																																																																																				
PFI 対価年間支払	約11億9千万円																																																																																																				
（建物分	約9億7千万円）																																																																																																				
（維持管理分	約2億2千万円）																																																																																																				
直営部分支出額	約4億8千万円 B																																																																																																				
A+B	約7億円																																																																																																				
館長兼劇場総監督（衛紀生氏）	1人																																																																																																				
事務局長	1人																																																																																																				
総務課	5人																																																																																																				
顧客コミュニケーション課	5人（兼務1）																																																																																																				
事業制作課	8人（兼務1）																																																																																																				
舞台技術課	5人																																																																																																				
合計	23人																																																																																																				
年間	約6億2千万円																																																																																																				
（指定管理料	約4億6千万円）																																																																																																				
支配人	1人																																																																																																				
副支配人	1人																																																																																																				
施設運営部	36人																																																																																																				
部長級	1																																																																																																				
庶務課	5																																																																																																				
施設利用課	15																																																																																																				
舞台技術課	15（委託10含）																																																																																																				
事業企画部	26人																																																																																																				
部長級	2																																																																																																				
音楽企画課	7																																																																																																				
広報営業課	8																																																																																																				
演劇企画課	7																																																																																																				
舞踊企画課	2																																																																																																				
合計	64人																																																																																																				
年間	約11億6千万円																																																																																																				
（指定管理料	約8億2千万円）																																																																																																				
館長	（含めず）																																																																																																				
芸術監督	（含めず）																																																																																																				
副館長	1人																																																																																																				
ゼネラルマネージャー	1人																																																																																																				
事務局長	1人																																																																																																				
楽団部																																																																																																					
事業部	制作（音楽・オペラ・バレエ、演劇・古典芸能、普及事業）、広報、営業																																																																																																				
舞台技術部																																																																																																					
総務部																																																																																																					
合計（楽団員は含まない）	52人																																																																																																				
年間（専属楽団含む）	約36億円																																																																																																				
（県負担	約12億6千万円）																																																																																																				
（事業基金	約4億3千万円）																																																																																																				